

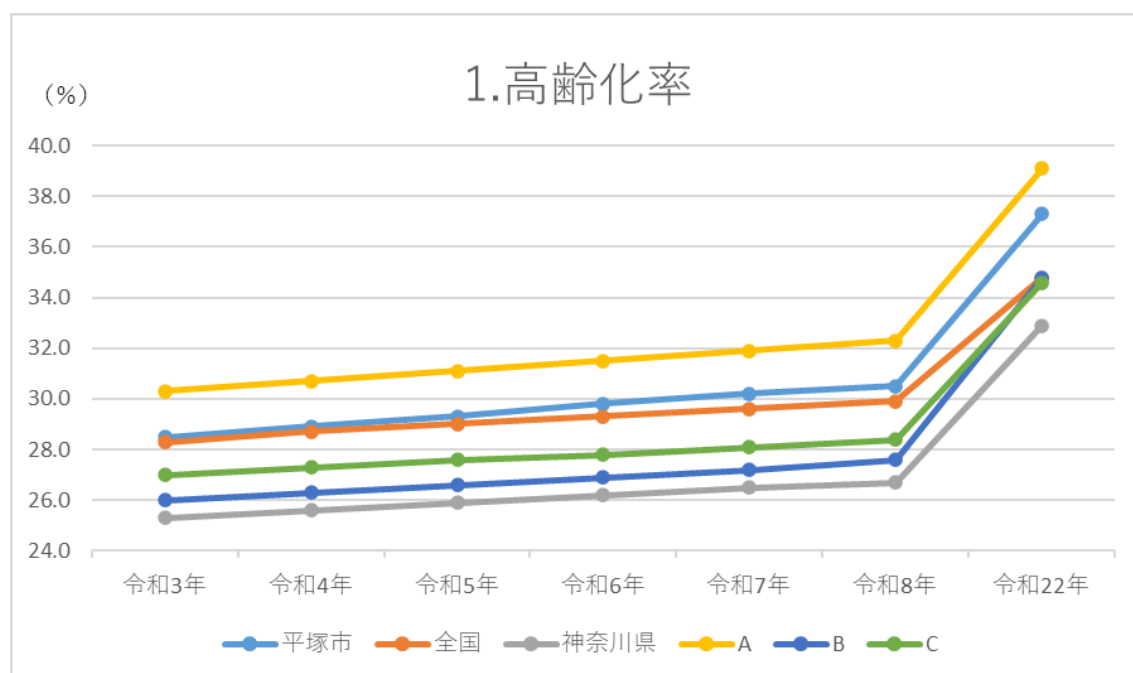
地域の介護保険事業の特徴を把握するため、「地域包括ケア「見える化」システム」を活用し、サービス資源や給付費等の現状把握・分析を行っています。さらに、全国や神奈川県、近隣他市（Ａ、Ｂ、Ｃ）との比較を行い、平塚市の相対的な位置づけを明らかにします。

なお、本分析では、過去５年間（令和３年度から令和７年度）の各種実績データに加え、2025年問題や2040年問題といった将来の社会課題を見据え、令和22年（2040年）までの高齢化率の推計値も加味しています。

1. 高齢化率

高齢化率（％）	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和22年
平塚市	28.5	28.9	29.3	29.8	30.2	30.5	37.3
全国	28.3	28.7	29.0	29.3	29.6	29.9	34.8
神奈川県	25.3	25.6	25.9	26.2	26.5	26.7	32.9
A	30.3	30.7	31.1	31.5	31.9	32.3	39.1
B	26.0	26.3	26.6	26.9	27.2	27.6	34.8
C	27.0	27.3	27.6	27.8	28.1	28.4	34.6

（出典）総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



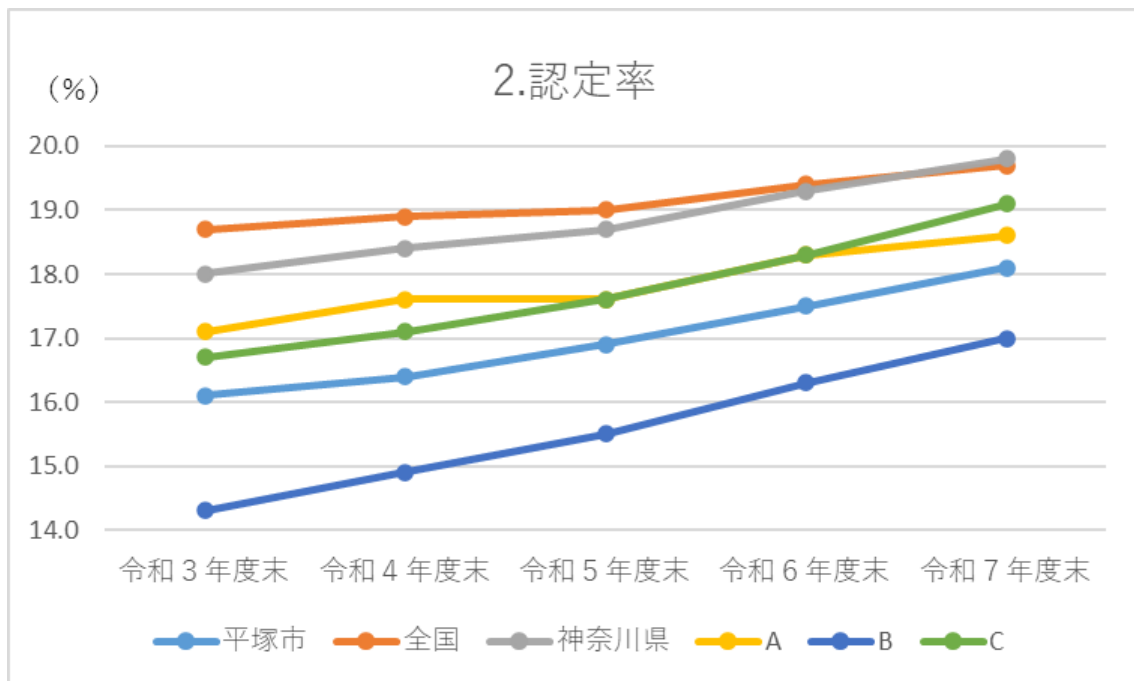
平塚市の高齢化率は年々上昇しており、令和３年以降、全国平均を超えて高い水準で推移しています。具体的には、令和３年の28.5%から令和８年には30.5%に達すると予想されており、令和22年には37.3%にまで上昇すると見込まれています。

この超高齢社会の進展に対応するためには、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が途切れることなく提供される地域包括ケアシステムのさらなる深化と推進が重要と考えられます。

2. 認定率

認定率（％）	令和３年度末	令和４年度末	令和５年度末	令和６年度末	令和７年度末
平塚市	16.1	16.4	16.9	17.5	18.1
全国	18.7	18.9	19.0	19.4	19.7
神奈川県	18.0	18.4	18.7	19.3	19.8
A	17.1	17.6	17.6	18.3	18.6
B	14.3	14.9	15.5	16.3	17.0
C	16.7	17.1	17.6	18.3	19.1

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6,7,8年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



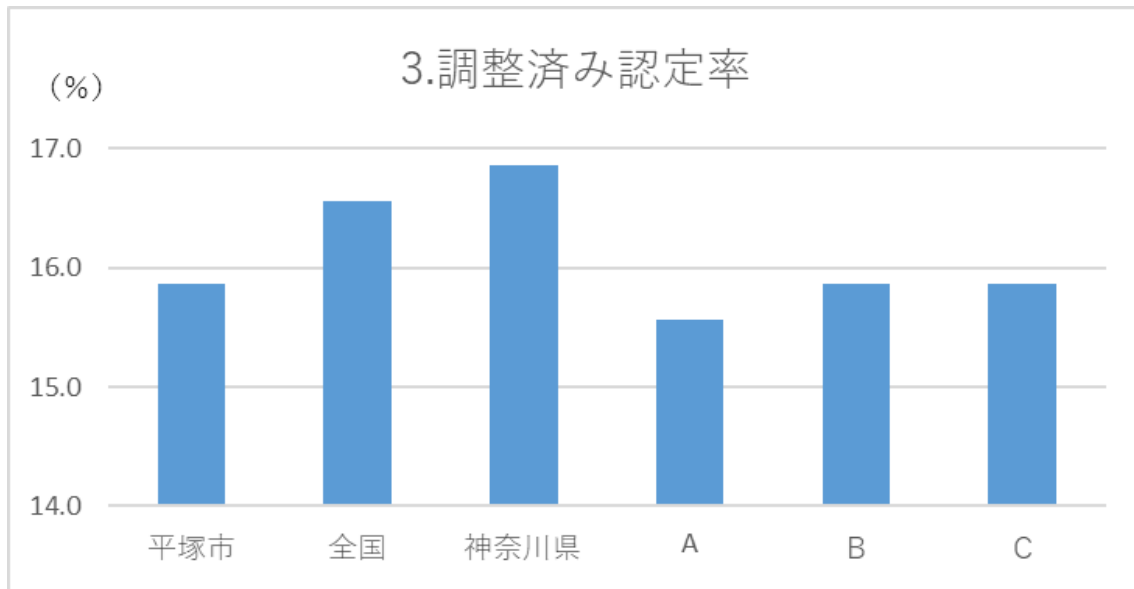
平塚市の認定率は、全国平均や神奈川県平均よりも低い水準にありますが、毎年少しずつ上昇しています。具体的には、令和３年度末の16.1%から令和７年度末には18.1%まで上昇しています。

今後も、できる限り要介護や要支援の認定を受けずに済むよう、介護予防への取り組みをさらに強化していくことが重要です。

3. 調整済み認定率

調整済み認定率(%)	平塚市	全国	神奈川県	A	B	C
令和7年度末	15.8	16.5	16.8	15.5	15.8	15.8

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」



調整済み認定率とは、認定率に大きな影響を与える「第1号被保険者の性別や年齢構成」を考慮して算出した認定率です。これにより、地域ごとの介護状況をより正確に比較できるようになります。

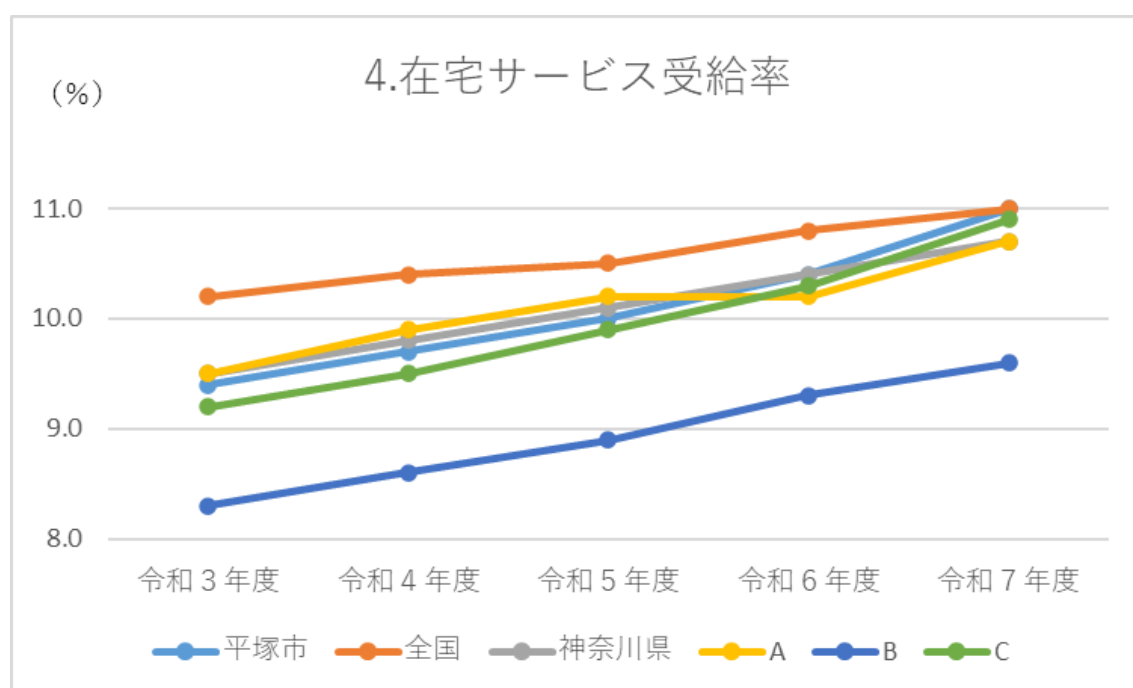
この調整済み認定率で見ると、平塚市（15.8%）と全国平均（16.5%）および神奈川県平均（16.8%）との差は、調整前の認定率と比較して小さくなっていることがわかります。これは、本市の認定率の低さに高齢者の年齢構成が一部影響していることを示しています。

一方で、年齢構成の影響を除いた後も全国・神奈川県平均を下回っていることから、本市では同年齢帯における要介護化が低く抑えられており、高齢者の高い自立度が維持されていることが考えられます。

4. 在宅サービス受給率

在宅サービス 受給率(%)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
平塚市	9.4	9.7	10.0	10.4	11.0
全国	10.2	10.4	10.5	10.8	11.0
神奈川県	9.5	9.8	10.1	10.4	10.7
A	9.5	9.9	10.2	10.2	10.7
B	8.3	8.6	8.9	9.3	9.6
C	9.2	9.5	9.9	10.3	10.9

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6,7年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



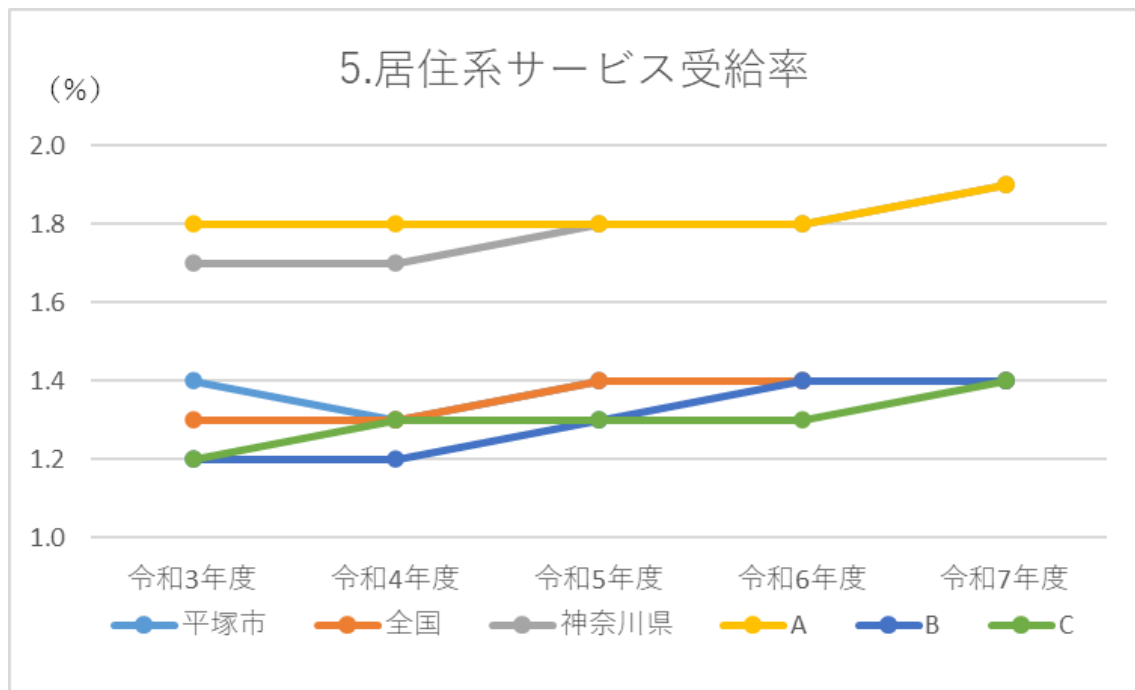
平塚市の在宅サービス受給率は全国平均（11.0%）と同水準で、近隣他市（A市、B市、C市）と比較すると高い水準にあります。これは市内に訪問介護や通所介護、福祉用具貸与などの在宅サービス事業所が多く、サービスを利用しやすい環境が整っていることが主な要因と考えられます。

※在宅サービス： 訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、福祉用具貸与、特定福祉用具販売、住宅改修、居宅介護支援

5. 居住系サービス受給率

居住系サービス 受給率(%)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
平塚市	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4
全国	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
神奈川県	1.7	1.7	1.8	1.8	1.9
A	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9
B	1.2	1.2	1.3	1.4	1.4
C	1.2	1.3	1.3	1.3	1.4

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6,7年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



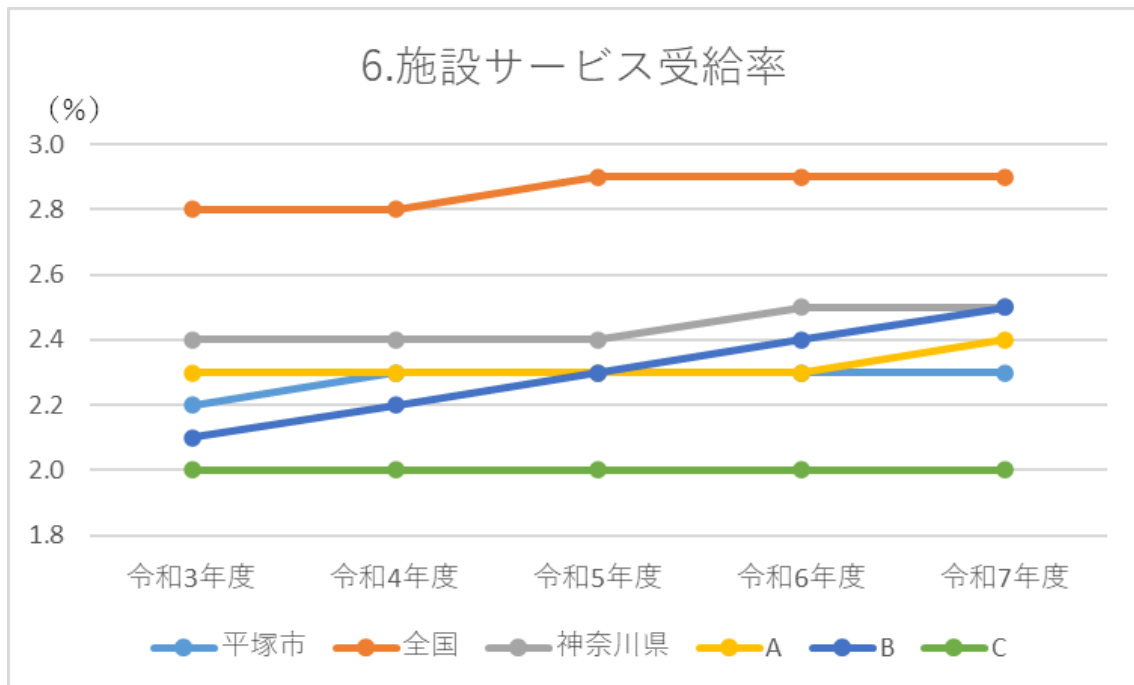
平塚市の居住系サービスの受給率は、近年ではほとんど変化なく推移しています。全国平均（1.4%）と同水準ですが、神奈川県平均（1.9%）よりは低い水準にあります。近年では、ほとんど変化なく推移しています。

※居住系サービス：特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護

6. 施設サービス受給率

施設サービス 受給率(%)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
平塚市	2.2	2.3	2.3	2.3	2.3
全国	2.8	2.8	2.9	2.9	2.9
神奈川県	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5
A	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4
B	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5
C	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6,7年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



平塚市の施設サービス受給率は、令和7年度で2.3%と、全国平均（2.9%）や神奈川県平均（2.5%）と比べて低い水準にあります。

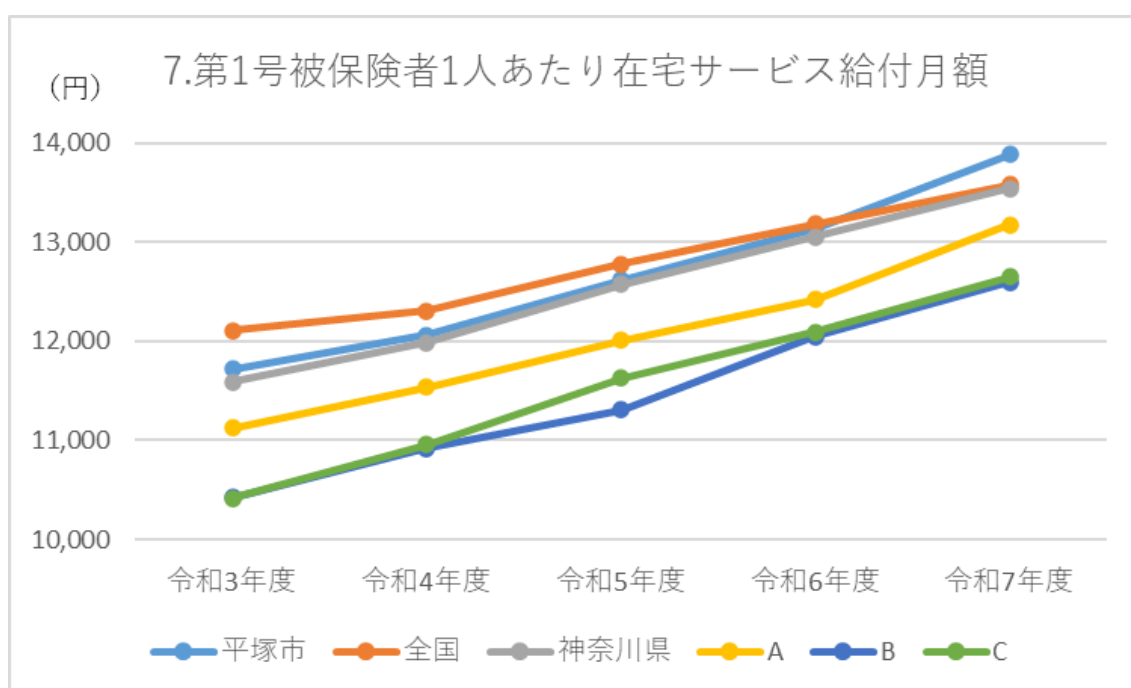
令和8年2月には新たな施設が開設されたものの、受給率全体への影響は軽微であり、大幅な増加は見込まれず、今後も現在と同程度の水準で推移することが予想されます。

※施設サービス：介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

7. 第1号被保険者1人あたり在宅サービス給付月額

在宅サービス 給付月額(円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
平塚市	11,719	12,066	12,618	13,138	13,891
全国	12,107	12,308	12,778	13,183	13,584
神奈川県	11,592	11,988	12,576	13,060	13,548
A	11,123	11,537	12,008	12,422	13,180
B	10,422	10,917	11,308	12,049	12,602
C	10,415	10,961	11,626	12,095	12,654

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6,7年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



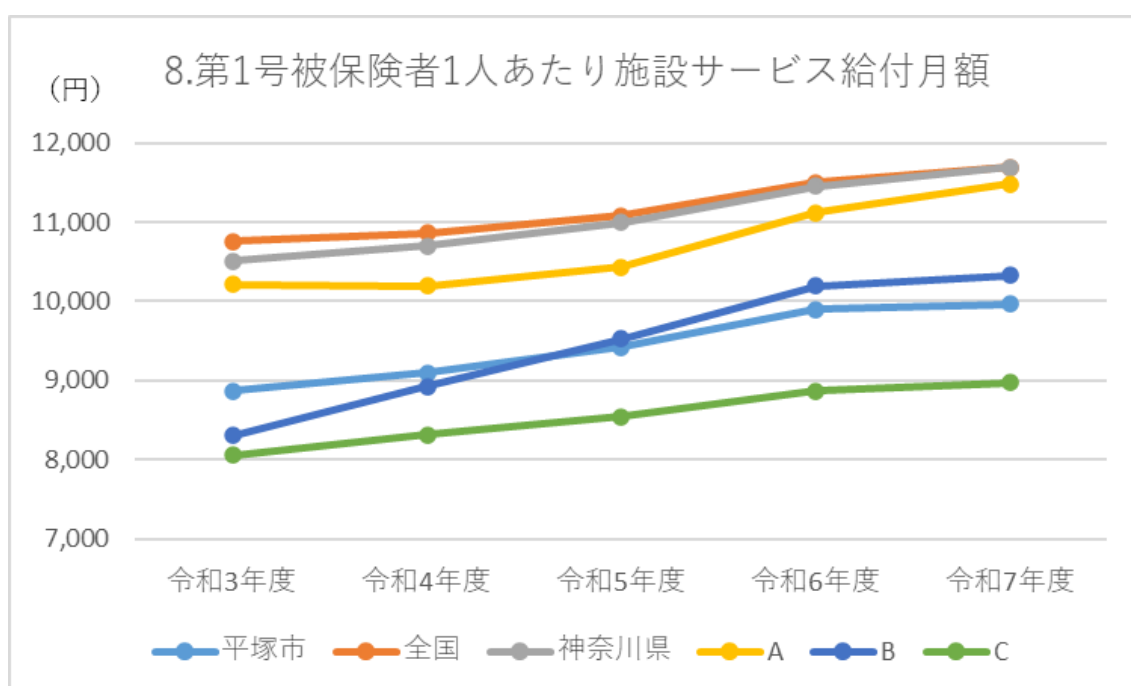
平塚市における第1号被保険者1人あたりの在宅サービス給付月額は、年々増加傾向にあります。具体的には、令和3年度の11,719円から令和7年度には13,891円となっています。この金額は、全国平均や神奈川県平均を上回り、近隣他市（A市、B市、C市）を含むすべての比較対象の中で最も高い金額となっています。

これは、要介護の状態になっても、多くの人が在宅サービスを利用しながら、住み慣れた家で生活の続けることを選択しているためと考えられます。

8. 第１号被保険者１人あたり施設及び居住系サービス給付月額

施設及び居住系サービス 給付月額(円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
平塚市	8,868	9,096	9,419	9,900	9,962
全国	10,758	10,863	11,082	11,502	11,692
神奈川県	10,509	10,698	10,997	11,453	11,694
A	10,216	10,194	10,429	11,117	11,486
B	8,302	8,929	9,524	10,196	10,324
C	8,061	8,311	8,540	8,864	8,969

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6,7年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

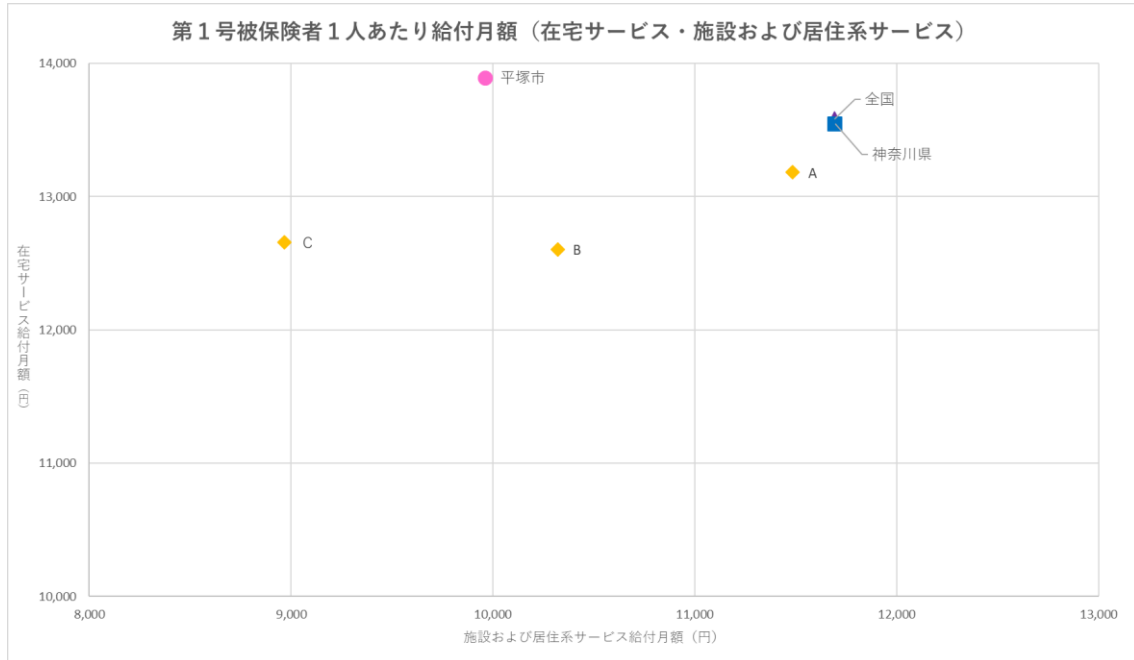


平塚市における第１号被保険者１人あたりの施設及び居住系サービス給付月額は、令和７年度で９,９６２円と、全国平均（１１,６９２円）や神奈川県平均（１１,６９４円）よりも低い水準にあります。

この背景には、本市において各種在宅サービスの活用が進み、自宅や地域での生活継続を選択する人が多いことが考えられます。

9. 第１号被保険者１人あたり給付月額 在宅サービスと施設・居住系サービスの分布

	平塚市	全国	神奈川	A	B	C
在宅サービス	13,891	13,584	13,548	13,180	12,602	12,654
施設および居住系サービス	9,962	11,692	11,694	11,486	10,324	8,969



令和 7 年度時点における平塚市の在宅サービス給付月額は 13,891 円であり、全国平均（13,584 円）、神奈川県平均（13,548 円）及び近隣他市（A 市・B 市・C 市）のいずれよりも高い額となっています。

一方で、施設及び居住系サービス給付月額は 9,962 円であり、全国平均（11,692 円）、神奈川県平均（11,694 円）ならびに A 市・B 市よりも低い水準にとどまっています。

この分布から、施設及び居住系サービスの給付額が低い一方で、在宅サービスの給付額が高いことが、本市の大きな特徴であると言えます。

10. 平塚市介護保険事業の総合的な分析と今後の展望

平塚市は、高齢化率が令和３年以降全国平均を上回って推移しており、超高齢社会に対応するための地域包括ケアシステムの深化・推進が不可欠です。また、認定率は全国・神奈川県平均より低いものの年々上昇しています。調整済み認定率の分析からも、本市は高齢者の高い自立度が維持されていることが伺える一方、認定率の上昇傾向を踏まえ、介護予防への取り組みを継続・強化していくことが重要です。

現在の介護サービス利用状況では、平塚市は在宅サービスの受給率が全国平均と同水準であり、近隣他市より高く、第１号被保険者１人あたりの在宅サービス給付月額もすべての比較対象の中で最も高い水準にあります。これは、市内に各種在宅サービス事業所が多く整備されており、要介護状態となっても住み慣れた自宅での生活継続を選択する人が多いという本市の特徴を示しています。

一方、施設及び居住系サービスの受給率や給付月額は全国・神奈川県平均を下回っており、令和８年２月に新たな施設が開設されたものの受給率全体への影響は軽微であり、今後も現在と同程度の水準で推移することが予想されます。

総合的に見て、平塚市は急速な高齢化が進む中、施設入所に過度に依存せず在宅での生活継続を重視する傾向が強い地域です。今後は、増加する高齢者人口と多様化する介護ニーズに対応するため、高い水準にある在宅サービスの質の向上や給付の適正化を図るとともに、既存施設の適正な運用や医療・介護連携をさらに強化し、持続可能な介護保険事業の運営につなげていくことが重要です。